

国保努力支援制度(市町村分) 令和7年度評価指標(令和6年度採点分) 結果概要

【点数・得点率】

R6年度: 489.21点 / 940点(得点率58.2%・全国順位18位)
→ R7年度: 555.64点 / 988点(得点率56.2%・全国順位〇位) **対前年度 得点率 2.0%の減少**

【交付予定額】

R6年度: 853,489千円
→ R7年度: 645,993千円 (予算規模が500億円から400億円へ縮小)

R7年度加点・減点について	指標の変化について
<共通事項> ・市町村の自己採点データを県国保課と国保連合会が共有し、市町村に対するヒアリングを実施 ・県国保課・国保連関係課による加点に向けた個別アドバイス等の実施 ○全体的に加点が大きく伸びた項目及び減少した項目は見られず現状維持の形となった。 <個別事項> ○R6年度実績(R5年度実施)に基づく減点 R7年度採点:14市町村、301減点 ○減点の主な要因 ・重複・多剤の取組など各市町村の事情により結果的に未実施となったことによるもの ・申請時に報告誤りがあったもの	○既存の指標においてマイナ保険証の利用促進を意識した得点配分の傾向がみられた。また、こどもの医療の適正化に係る取組の新設もみられた。 <主な項目> ・生活習慣病等の発症予防・重症化予防の取組として、ICTやPHRの利活用を促進する体制構築を評価対象へ追加 ・マイナ保険証の利用に関する周知広報に係る取組及びマイナ保険証利用率に関する目標設定・達成状況を評価する指標追加(24点→71点) ・こどもの医療の適正化等の取組を評価する指標を新設(60点)